

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、輸出・生産に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。

輸出は弱めの動きとなっている。設備投資は増加している。個人消費は緩やかに回復している。公共投資は持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。

生産は弱めの動きとなっている。企業収益は頭打ち感がみられる。企業の業況感は悪化した。この間、雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに増加している。

【前回からの変更項目】

	今回（7月1日公表）	前回（6月4日公表）
全 体	輸出・生産に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。	輸出・生産の一部に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。
輸 出	弱めの動きとなっている。	高めの水準で推移しているものの、一部に弱さがみられる。
生 産	弱めの動きとなっている。	高めの水準で推移しているものの、一部に弱さがみられる。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

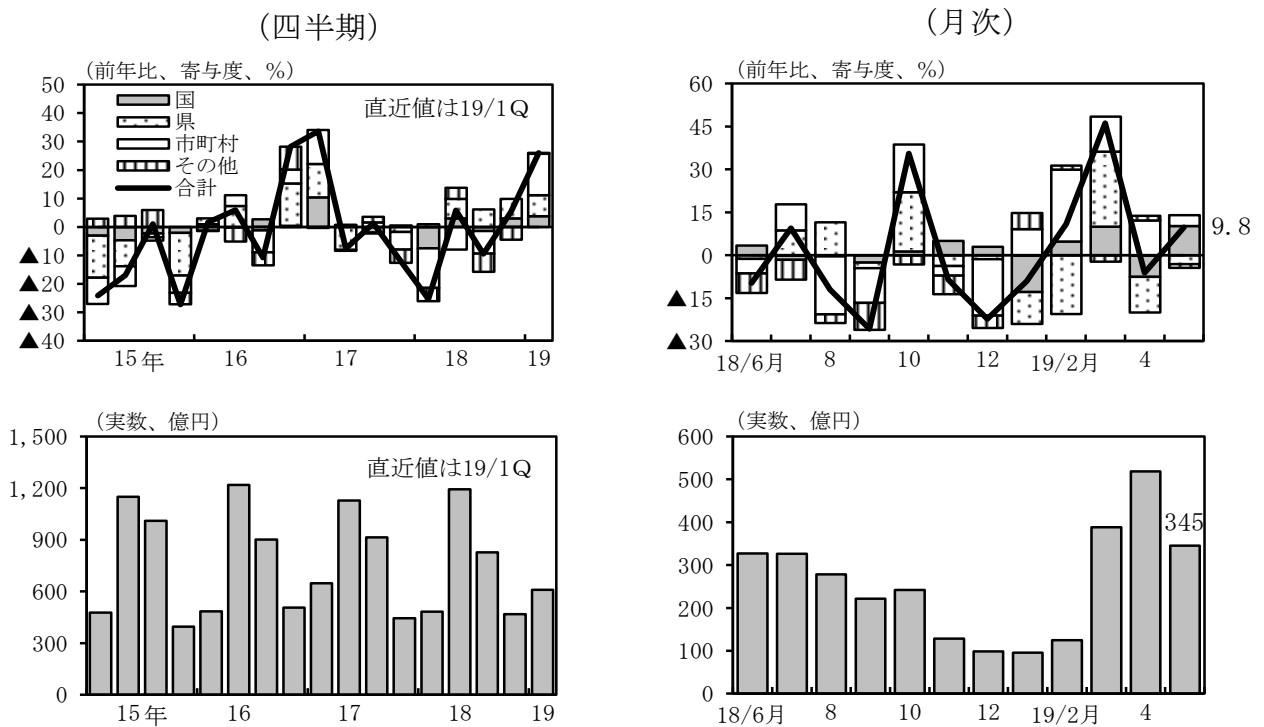
ホームページアドレス : <http://www3.boj.or.jp/niigata/>

1. 実体経済

公共投資は持ち直している。

2019年5月の県内の公共工事請負金額は、国や市町村での発注増加により、前年を上回った。

[公共工事請負金額] (前年比・実数)



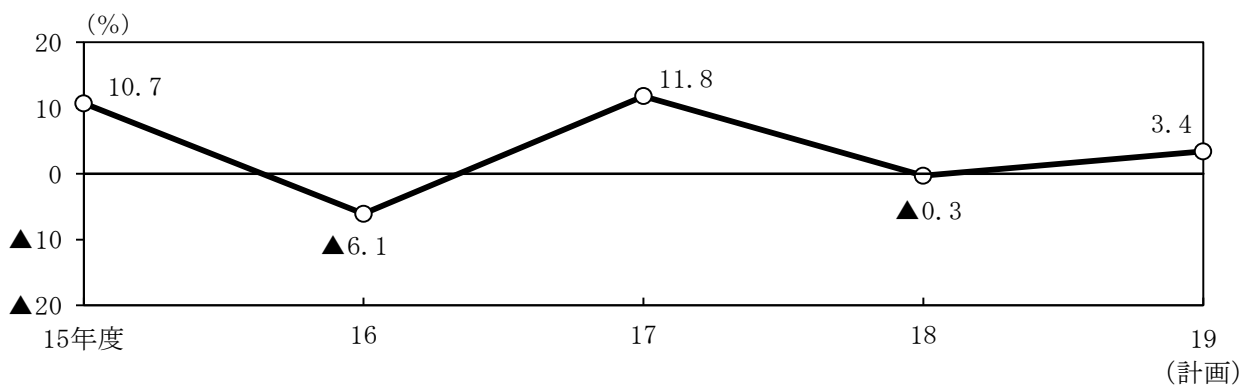
出所：東日本建設業保証(株)新潟支店

輸出は弱めの動きとなっている。

最近の動向を業種別にみると、化学、金属製品（作業工具）は高水準で推移している。一般機械、輸送用機械は鈍化している。電気機械は弱い動きが続いている。

2019年6月短観（製造業）では、2019年度は前年を上回る計画である。

[短観・輸出（製造業）] (前年比)



出所：日本銀行新潟支店

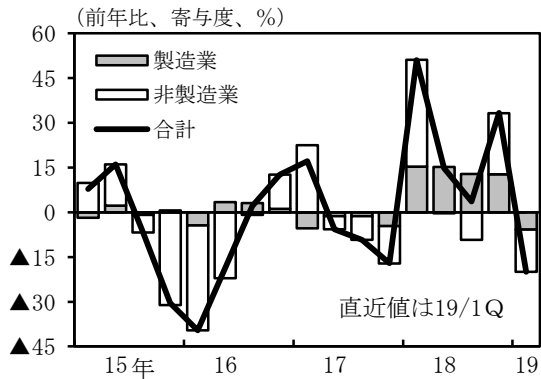
設備投資は増加している。

2019年5月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を上回った。

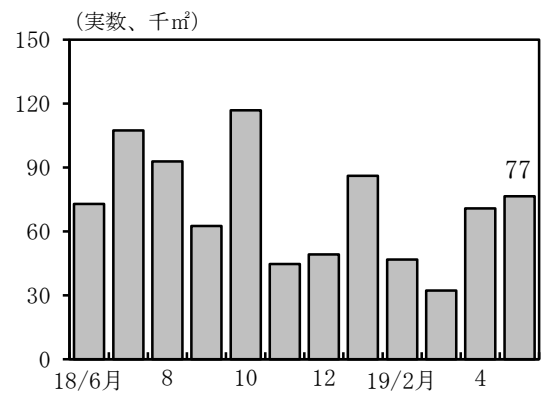
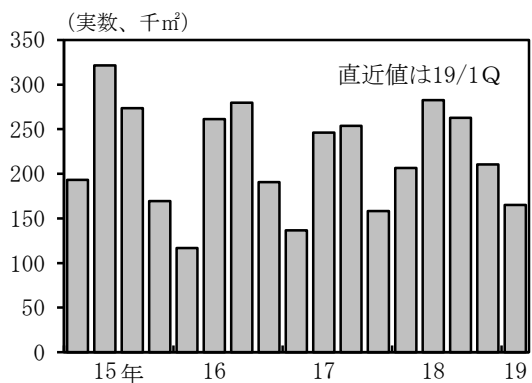
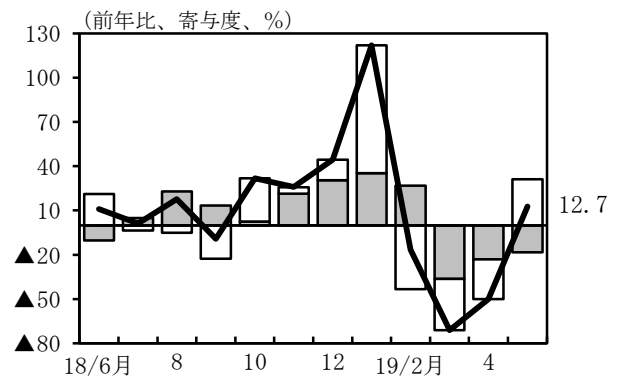
2019年6月短観では、2019年度は前年を上回る計画である。

[建築着工床面積（非居住用）]（前年比・実数）

(四半期)

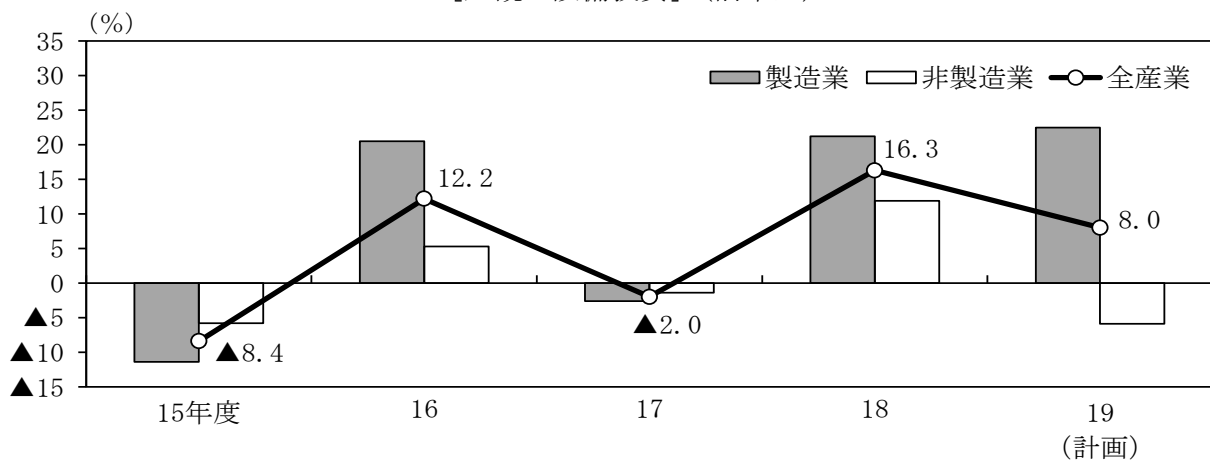


(月次)



出所：国土交通省

[短観・設備投資]（前年比）



出所：日本銀行新潟支店

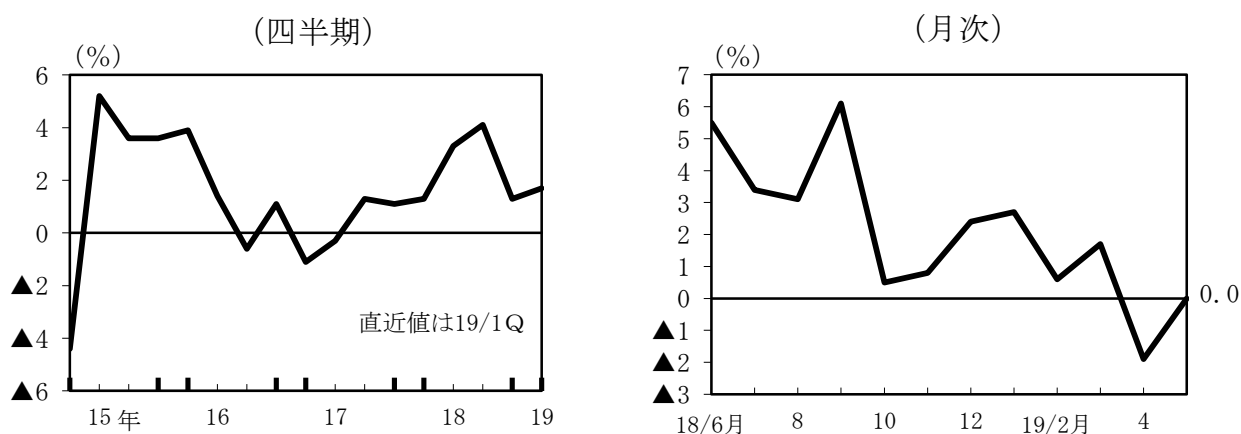
個人消費は緩やかに回復している。

2019年5月の百貨店・スーパー販売額は、前年並みとなった。衣料品は弱めの動きとなったものの、食料品は堅調に推移した。

2019年5月の乗用車の新車登録・届出台数は、前年を上回った。家電販売額は回復している。

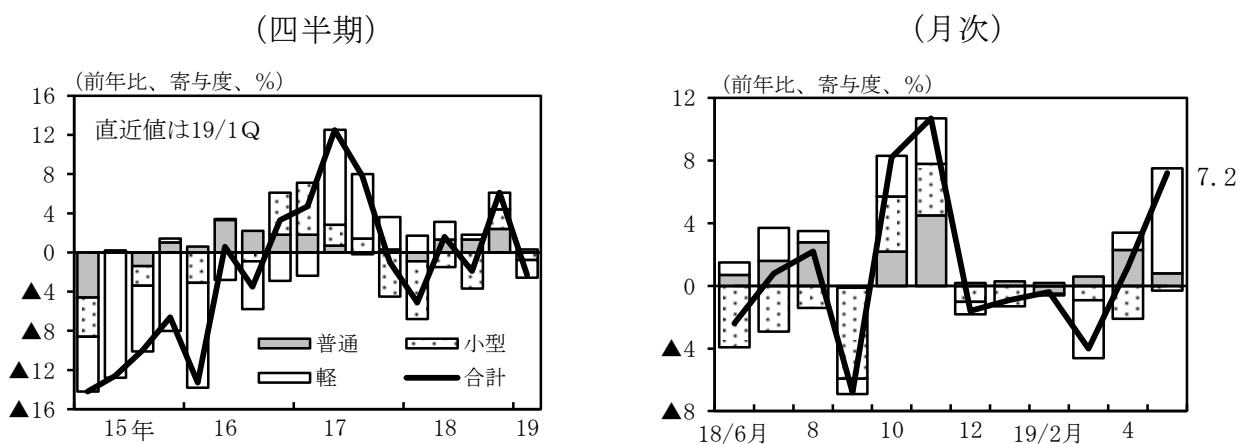
旅行取扱高は回復している。

[百貨店・スーパー販売額] (前年比)



出所：経済産業省

[乗用車新車登録・届出台数] (前年比)

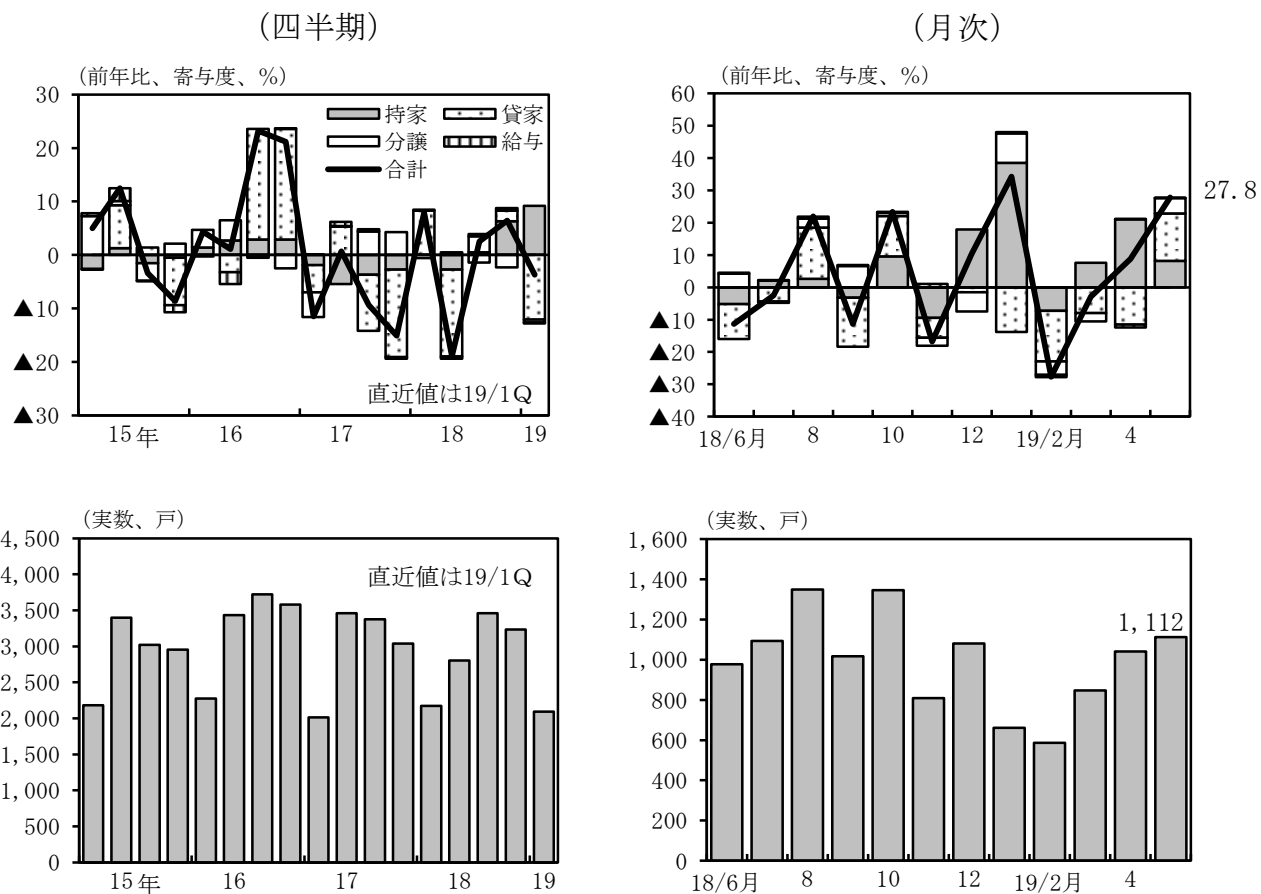


出所：新潟運輸支局

住宅投資は横ばい圏内で推移している。

2019年5月の県内の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも増加したため、前年を上回った。

[新設住宅着工戸数] (前年比・実数)



出所：国土交通省

生産は弱めの動きとなっている。

食料品（米菓、練り製品）は、横ばい圏内で推移している。

電子部品・デバイスは、弱い動きが続いている。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、鈍化している。

金属製品（作業工具）は、高水準で推移している。

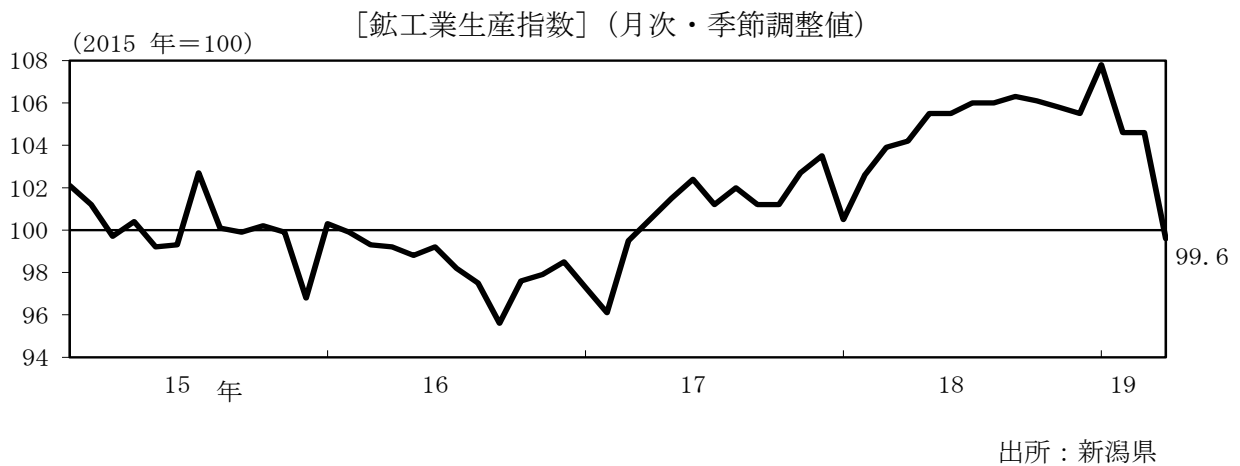
化学は、高水準で推移している。

輸送用機械（自動車関連部品）は、鈍化している。

鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。

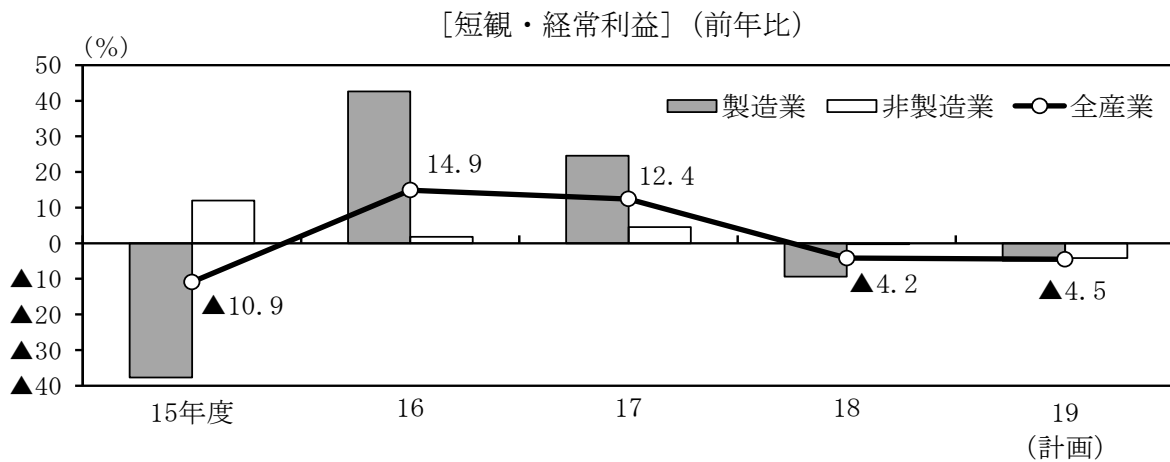
繊維は、低調な生産を続けている。

なお、2019年4月の県内の鉱工業生産指数は、前月比低下した（季調済前月比▲4.8%）。



企業収益は頭打ち感がみられる。

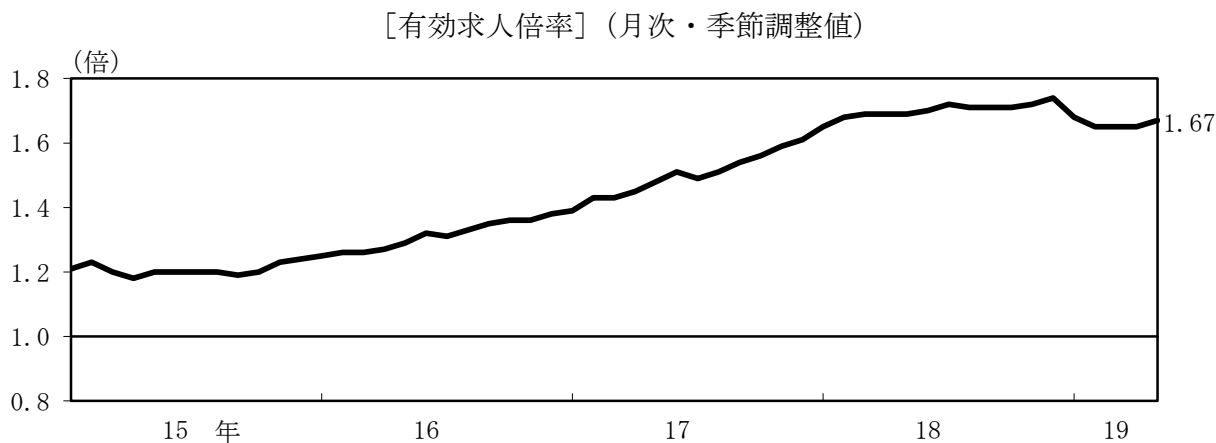
2019年6月短観では、2019年度の経常利益は減益の計画である。



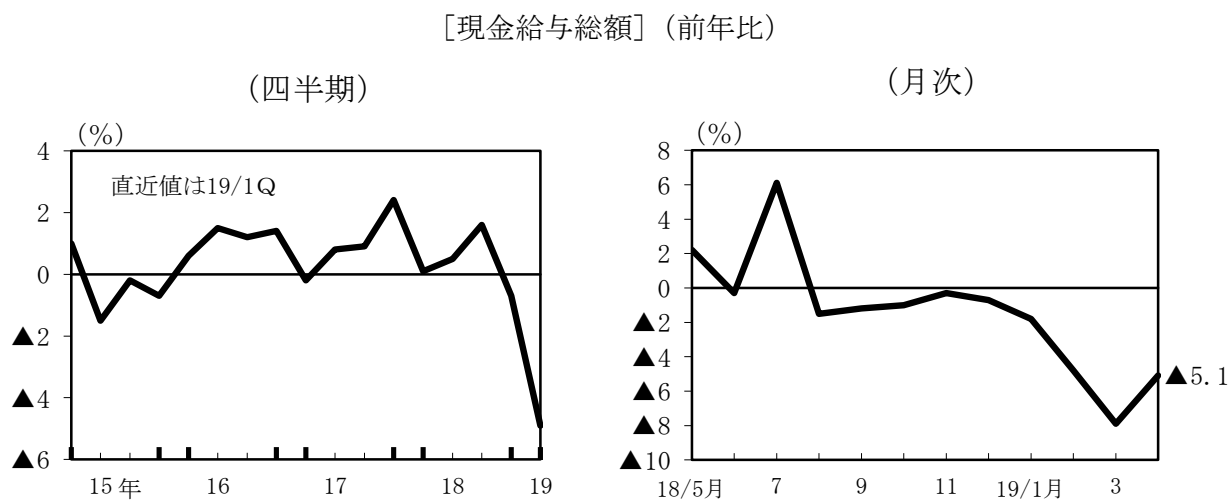
雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに増加している。

2019年5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。求人数は前月から増加し、求職者数は前月並みとなった。

この間、2019年4月の現金給与総額は、前年を下回った。



出所：新潟労働局



出所：新潟県

企業の業況感は悪化した。

2019年6月短観の業況判断D. I. は、「悪い」超に転化した。

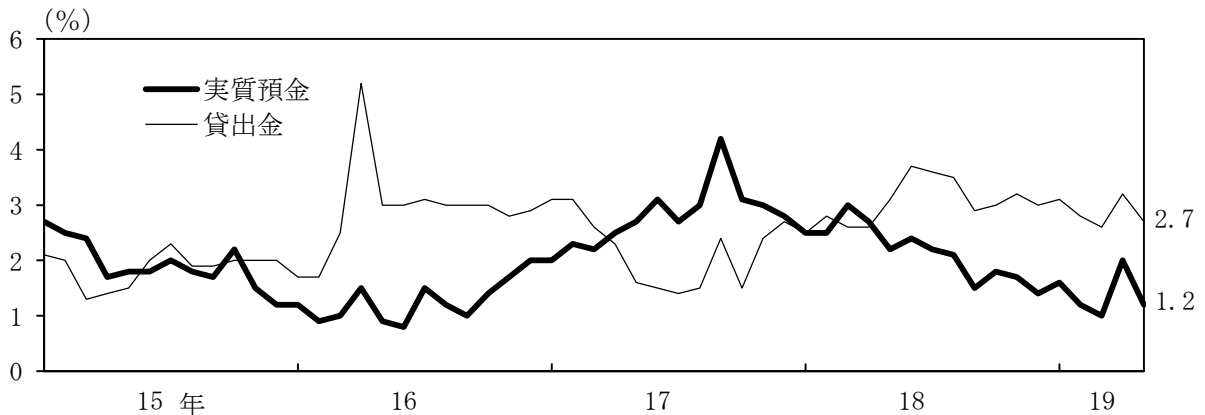
製造業は、海外需要の減少や原材料価格上昇による利幅縮小などから、「悪い」超に転化した。非製造業は、自社製品・サービスの販売不振などから、「良い」超幅が縮小した。

2. 金融

預金、貸出金ともに増加している。

2019年5月の県内金融機関の預金は、公金預金で前年を下回った一方、個人預金、法人預金で前年を上回り、全体でも前年を上回った。また、貸出金は、個人向け、法人向け、地公体向けのいずれも前年を上回った。

[預金・貸出金残高] (月次・前年比)

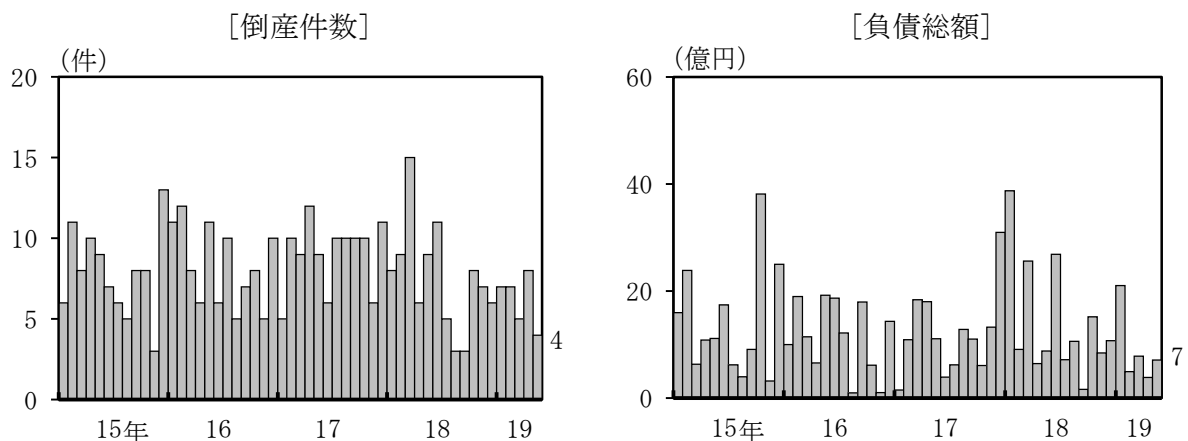


出所：日本銀行新潟支店

企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

2019年5月の県内企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

[倒産] (月次・実数)



出所：(株)東京商工リサーチ新潟支店

以 上